

化学療法計画書

ID					
氏名					
生年月日					
実施部署			発行日		
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m ²)	1.50

指示医師:			
指導医師:			
投与開始予定日:	年	月	日
投与終了日:	年	月	日

病名	ホジキンリンパ腫
治療法	ABVD療法

	1	2	3	4
抗癌剤・商品名	アドリアシン	ブレオ	エクザール	ダカルバジン
規格	10mg 50mg	5mg 15mg	10mg	100mg
一般名	ドキシソルピシン	ブレオマイシン	ピンブラスチン	ダカルバジン
一日投与量(規定)	25mg/m ²	9mg/m ²	6mg/m ²	375mg/m ²
患者情報から算出した 一日投与量	37.53 mg	13.51 mg	9.01 mg	562.92 mg
実際の投与量	35 mg	13 mg	9 mg	560 mg
	23.3 mg/m²	8.7 mg/m²	6 mg/m²	373.1 mg/m²
投与日	day1,15			
1クール期間	28日間			
予定クール数				
検査スケジュール	原則的に投与日に化学療法施行前セット 検査データに応じて臨時に検査実施			

適応基準	ホジキンリンパ腫
推奨 経口剤	○このレジメンは高度催吐性リスク群です。 ※5HT3受容体拮抗薬+点滴デカドロン(点滴レジメン組込み)以外に以下の経口制吐剤を推奨します。 イメンド: day1(点滴開始前)125mg、day2,3: 80mg/日 デカドロン: day2-5: 8mg/日
禁忌	1.心機能異常又は重篤な心疾患、その既往歴のある患者 2.本剤の成分及び類似化合物(ペプロマイシン)に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者 3.重篤な肺機能障害、胸部レントゲン写真上びまん性の線維化病変及び著明な病変を呈する患者 4.重篤な腎機能障害のある患者 5.胸部及びその周辺部への放射線照射を受けている患者 6.髄腔内投与 7.妊婦又は妊娠している可能性のある婦人
中止基準	投与前の白血球数: 2500/mm ³ 未満、血小板数: 75,000/mm ³ 未満 骨髄機能が回復するまでは投与延期 (NEJM (327) 1478-1484, 1992の投与基準に準拠)
副作用	<p>●アドリアシン</p> <p>重大 1.心筋障害、心不全、2.骨髄抑制(汎血球減少、貧血、白血球減少、好中球減少、血小板減少、出血)、3.ショック、4.間質性肺炎、5.萎縮膀胱(膀胱注入時)</p> <p>その他(主要) 脱毛(61.6%)、悪心・嘔吐(42.9%)、食欲不振(39.7%)、口内炎(22.2%)</p> <p>●ブレオ</p> <p>重大 1.間質性肺炎・肺線維症(10%) 2.ショック(0.1%未満) 3.出血(2%)</p> <p>その他(主要) 皮膚の硬化・色素沈着(40.6%)、発熱・悪寒(39.8%)、脱毛(29.5%)、食欲不振・体重減少(28.7%)、全身倦怠感(16.0%)、悪心・嘔吐(14.6%)、口内炎(13.3%)、爪の変化(11.2%)</p> <p>●エクザール</p> <p>重大 1.骨髄抑制(頻度不明) 2.知覚異常、末梢神経炎、痙攣、錯乱、昏睡、昏蒙(頻度不明) 3.イレウス、消化管出血(0.1~5%未満) 4.ショック、アナフィラキシー様症状(頻度不明) 5.心筋虚血(頻度不明) 6.脳梗塞(頻度不明) 7.難聴(頻度不明) 8.呼吸困難及び気管支痙攣(頻度不明) 9.抗利尿ホルモン不適合分泌症候群(SIADH)(頻度不明) 10.間質性肺炎(類薬)</p> <p>その他 貧血、悪心・嘔吐、口唇炎、消化不良、食欲不振、口渇、口内炎、腹痛、便秘、発疹、脱毛、水疱形成、歩行困難、味覚異常、不安、不眠、深部腱反射の消失、関節痛、筋肉痛、倦怠感、脱力感、頭痛、眩暈、抑うつ、唾液腺痛、排尿障害、無精子症、無月経、性腺(睾丸、卵巣)障害等、高血圧、レイノー現象、頻脈、注射局所痛・壊死、眼振等の平衡感覚障害、発熱、静脈炎、腫瘍・リンパ節の疼痛</p> <p>●ダカルバジン</p> <p>重大 1.アナフィラキシーショック 2.汎血球減少、貧血、白血球減少、血小板減少等の骨髄機能抑制 3.肝静脈血栓症及び肝細胞壊死を伴う重篤な肝障害</p> <p>その他(主要) 嘔気(33.2%)、嘔吐(30.9%)、血管痛(8.2%)、肝機能障害(6.1%)、食欲不振(5.1%)</p>
備考	○アドリアシンの総投与量: 500mg/m ² を超えないこと ○ブレオの総投与量: 300mg/bodyを超えないこと

ABVD療法 観察記録①⑮

所要時間:2時間30分

氏名: ID() 年齢: (才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬()	入外()					
医師	指示医師:		抗癌剤用量 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の薬剤の変更・追加					
	アドリアシン(mg) 一般名(ドキシソルビシン)	ブレオ(mg) 一般名(ブレオマイシン)							
	エクザール(mg) 一般名(ピンブラスチン)	ダカルバジン(mg) 一般名(ダカルバジン)							
<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止				投与開始時間 調剤 実施					
投与指示	本体	側管							
	生食250mL		2時間30分かけて点滴						
	生食100mL +アロキシ1V +デカドロン 3 A		30分かけて点滴【200mL/h】						
	生食100mL+アドリアシン		30分かけて点滴【200mL/h】						
	生食100mL+ブレオ		30分かけて点滴【200mL/h】						
	生食50mL+エクザール		15分かけて点滴【200mL/h】						
	生食100mL+ダカルバジン		30分かけて点滴【200mL/h】						
本体終了後抜去									
バイタル	項目	投与前	アドリアシン投与中	ブレオ投与中	エクザール投与中	ダカルバジン投与中	投与後	●穿刺部位 末梢(右手 左手 その他:) CVポート(逆血 有り 無し) ●穿刺針 末梢留置針 (20G 22G 24G) CVポート穿刺針22G (16mm 19mm 25mm)	サイン
	体温								
	脈拍								
	血圧	/	/	/	/	/	/		
	SpO ₂								
観察	呼吸困難							看護記録	サイン
	紅斑・発疹								
	悪寒								
	疼痛								
	嘔気								
	嘔吐								

アクシデント (過敏反応、不整脈、血管外漏出等)